

件名

平成29年度県税決算について

経緯

○ 県税決算額の推移 (単位：百万円、%)

年度	決算額	対前年増減額	伸率	備考
19	115,591	15,739	15.8	
20	112,066	△ 3,525	△ 3.0	税源移譲
21	83,203	△ 28,863	△ 25.8	
22	82,787	△ 416	△ 0.5	世界同時不況 地方法人特別税の導入
23	83,746	959	1.2	
24	83,269	△ 477	△ 0.6	
25	82,568	△ 701	△ 0.8	
26	85,430	2,863	3.5	
27	97,700	12,270	14.4	消費増税 (5%→8%)
28	95,410	△ 2,290	△ 2.3	
29	94,574	△ 835	△ 0.9	

緯

内容

◎ 平成29年度の県税収入は、945億7千4百万円で、平成28年度決算額に対し8億3千5百万円(△0.9%)の減収となった。
 なお、平成29年度最終予算額(939億6千7百万円)に対しては、6億7百万円(+0.6%)の増となり、予算額を確保した。

◎ 主な増減要因(前年度比)

・ 個人県民税(均等割・所得割、配当割、株式譲渡所得割)

(H29:292億8千1百万円(+3.0%) ← H28:284億1千5百万円)

個人所得の増による増収。8億6千6百万円の増収。

・ 県固定資産税

(H29決算:5.2億円(+5.2億円 皆増))

忍野村、山中湖村の財政力指数の上昇により、同村所在の大規模償却資産に係る固定資産税の県課税分が発生したことに伴う増収。

・ 地方消費税(H29:113億4千3百万円(△14.9%) ← H28:133億2千9百万円)

輸出売上げに係る免税分の還付額が前年を大きく上回る実績となったことによる減収。19億8千6百万円の減収。

・ 法人事業税(H29:224億1千6百万円(△4.3%) ← H28:234億1千3百万円)

外形標準課税の拡大に伴う所得割の税率引下げによる減収。

9億9千7百万円の減収。

◎ 徴収率

(単位：%)

	山梨県			全国順位		全国平均		
	H29	H28	増減	H29	H28	H29	H28	増減
現年分	99.5	99.5	± 0 P	23位	21位	99.5	99.5	± 0 P
滞納繰越分	28.0	27.0	+1.0 P	39位	38位	35.5	33.7	+1.8P
計	98.3	98.1	+0.2 P	40位	36位	98.6	98.3	+0.3P

容

・ 徴収率(現・滞)は、法人二税、自動車税の徴収努力により、個人県民税の徴収率が市町村との連携による徴収対策により改善したことから、98.3%と昨年度を0.2ポイント上回った。

・ 全国順位は、現年分については、2位順位を下げて23位、滞納繰越分は1位順位を下げて39位、全体では4位順位を下げて40位となった。

・ 平成27年度に発生した高額徴収猶予案件により徴収率にマイナスの影響がでており、全国順位も低下している。